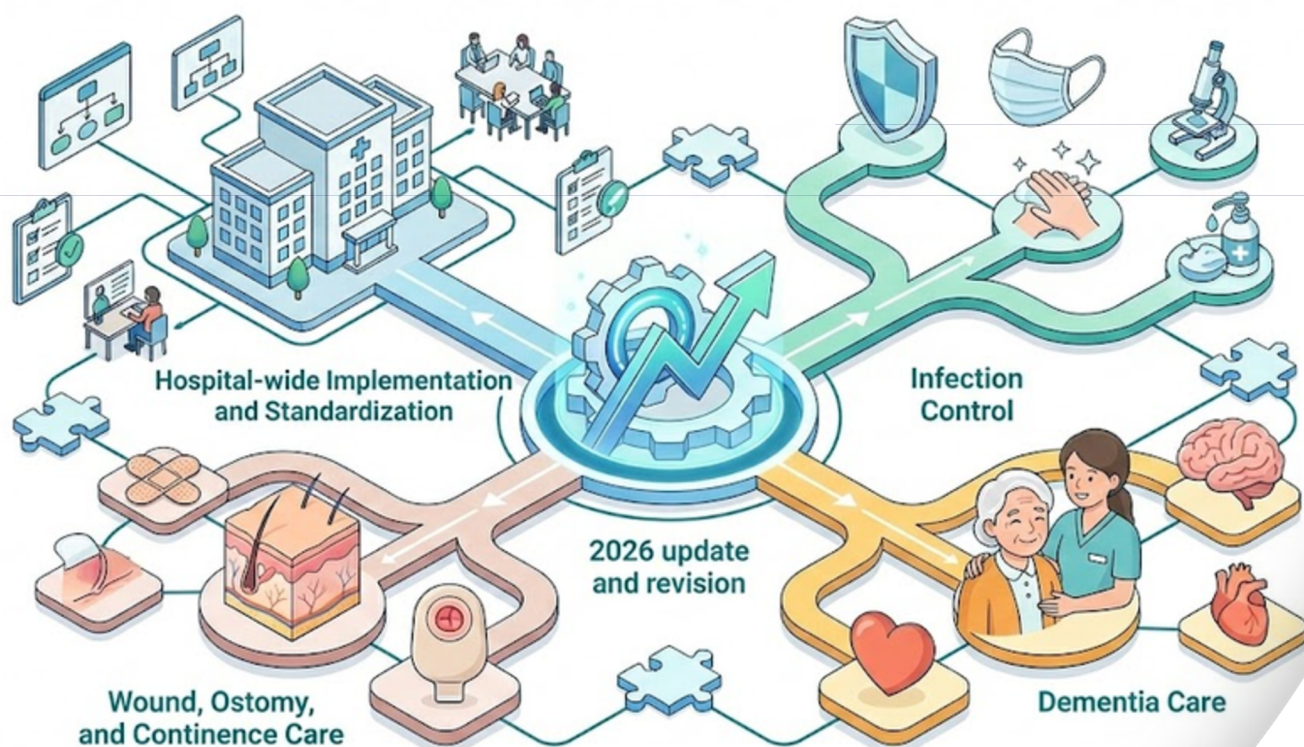


2026年度診療報酬改定対応／ 病院横断・看護実装 アップデート講座(全6回)



4つのポイント



【ポイント1】
3領域網羅
学術情報と
制度の2軸で構成



【ポイント2】
施設定額
1施設30,000円で
人数無制限で視聴可能



【ポイント3】
院内研修に
診療報酬で規定される
院内研修として利用可能



【ポイント4】
柔軟な受講
完全オンライン

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ご案内事項
アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

株式会社ソワネからメッセージ

『学びの場』を絶やさず、
地域の医療を次世代につなぐために。

株式会社ソワネ
代表取締役
森 真紀



私たち株式会社ソワネは、北海道医療大学認定看護師研修センターで長年教員を務めてきた看護師たちが、「現場の仲間を支えたい」という一心で設立した会社です。

今、医療現場は構造的な看護師不足にあるのはご存じの通りですが、医療の機能分化、地域連携、チーム医療の推進が進み、患者さんにとっての「医療・看護の質」の確保と向上を目指す一方で、看護師自身は、事務作業の複雑化に代表される業務過多に直面し、「自己犠牲ともいうべき状態で働いている」との悲鳴や「もっと患者さんのそばにいたい！」との温かい声を沢山いただき、その切なる思いを痛いほど理解している私たちに、何ができるかを考え立ち上がりました。

病院の経営幹部や看護部長の方々からも同様の相談も多く、対立ではなく病院内の関係者全体で複雑な問題を共有し解決へ取り組むことが重要と考えています。

2026年（令和8年）度の、診療報酬改定では、ICT、DXの活用が院内だけでなく地域連携まで様々な項目で新設され、良い意味での看護の合理化を通して、「もっと患者さんのそばにいたい！」の光が見えてきました。また、2026年4月から厚労省の中で「2040年に向けた看護職員の養成・確保の在り方に関する検討会」もスタートしました。

大事なものはICT、DXの活用や業務改善はあくまで手段であり、私たちが本当に実現したいのは、看護師が少しでも事務作業等から解放され、本来の価値である「ベッドサイドでのケア」に誇りを持って向き合える未来です。

本「ブラッシュアップセミナー」も、その第一歩です。北海道医療大学認定看護師研修センターの閉講に伴い、「学びや相談の場がなくなってしまう」という多くの声が寄せられました。その声に応えるため、私たちは再び集える場所をどこからでも参加できるようオンラインで用意しました。

本「ブラッシュアップセミナー」は、申し込み・参加方法に実践的な特長があります。

- ①経営幹部からスタッフナース、コメディカルまで同じ認識と解決の方向を共有。
- ②チーム医療の中でも、制度の複雑さから現場から要望の多い「感染対策」「褥瘡/WOC領域」「認知症/身体的拘束」の3分野を選定。
- ③各分野とも「診療報酬や関連制度の解説」と「ICT、DXの活用や現場のトピックス」の2パートで構成。
- ④6月1日施行を念頭に、疑義解釈が出そろった段階での実践度の高いセミナーの開催
- ⑤医療法や診療報酬等で規定される年2回の院内研修等にも活用。

以上の5つの観点から、他のセミナーにはない特長として、

「個人単位ではなく、1施設から何人でも視聴できる形とし、配信期間を各分野とも2か月以上確保しました。」

経営幹部、看護管理者、チーム医療のメンバーのみなさまを中心に、ご参加いただくことを、心よりお待ちしております。

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ご案内事項
アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

プログラム

6 月

感染管理分野

第1回 6月8日（月）
より配信
診療報酬改定について
（感染管理）

第2回 6月22日（月）
より配信
感染管理認定看護師の
活動と医療DX

詳細は講師紹介ページをご覧ください。

7 月

認知症看護分野

第3回 7月6日（月）
より配信
診療報酬改定について
（認知症看護）

第4回 7月20日（月）
より配信
身体的拘束の最小化と
AI活用による業務効率化

詳細は講師紹介ページをご覧ください。

8 月

皮膚・排泄ケア分野

第5回 8月10日（月）
より配信
診療報酬改定について
（皮膚・排泄ケア）

第6回 8月24日（月）
より配信
地域からの視点でわかった
地域連携のポイント

詳細は講師紹介ページをご覧ください。

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ご案内事項

アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

講師紹介【感染管理分野】

第1回

【動画時間】約90分

【配信期間】6月8日（月）12:00～8月31日（月）23:59まで

感染対策領域は、とにかく丁寧に読み解く力、
多施設とのコミュニケーション力と相互理解！！



高水 勝 先生

アルケア株式会社
事業管理本部 医療環境／医療行政分析・マーケットアクセス

北海道医療大学認定看護師研修センター特別講師として、「皮膚・排泄ケア認定看護師」「感染管理認定看護師」「認知症看護認定看護師」の3分野で、医療制度/保険制度の特別講義を担当。その他の認定看護師研修校等でも特別講義を複数担当。業界活動では16年間にわたり日本医療機器テクノロジー協会創傷被覆材部会長を務め、学会活動では日本褥瘡学会評議員/保険委員/褥瘡対策用具推進委員、日本フットケア・足病医学会ガイドライン委員会アドバイザー等に就任。1989年より3M（現ソルベンタム株式会社）に34年間所属、2023年11月よりアルケア株式会社に転籍し、医療市場環境分析/薬事・保険戦略/コンプライアンス/事業企画等を担当。医療行政、診療報酬、チーム医療マネジメント等で年間50回程度の講演、適宜執筆。

テーマ 感染対策に関して、診療報酬を軸に関連法規や各種運用を多面的に理解する

抄録 疑義解釈が出そろった段階なので、各項目とも具体的に解説します。
◆「感染対策向上加算」「外来感染対策向上加算」「微生物学的検査体制加算」「専従規定」等の感染対策に関連する項目の変更や新設ポイント。
◆看護業務の合理化や情報共有としての各種ICT、AI、IoT、DXの規定や加算。
◆特定看護師やNPなど看護業務のタスクシフトの業務範囲について多面的に整理解説
◆医療法や医療計画における感染対策の位置づけ
◆適時調査、医療監視、指導への対応（感染対策領域）

第2回

【動画時間】約90分

【配信期間】6月22日（月）12:00～8月31日（月）23:59まで

感染管理業務にAIを本格導入し、圧倒的な業務効率化と教育のアップデートを
実現している新進気鋭の第一人者が登壇！



今野 雄介 先生

JA北海道厚生連 旭川厚生病院
感染管理認定看護師

高度なAI技術を用いて自動化プログラムを自ら構築し、データ集計やルーチン業務の圧倒的な効率化を実現。最新テクノロジーを駆使して現場の課題を解決する、次世代の感染管理の第一人者。



重永 和枝 先生

JA北海道厚生連 札幌厚生病院
感染管理認定看護師

臨床現場の実践とAI技術を融合させるスペシャリスト。AIを用いて複雑な感染対策の知識や文献をわかりやすく整理し、自部署の勉強会やスタッフ教育に活用。現場全体の感染管理レベルを底上げしている。



澤谷 啓行

株式会社ソワネ
(元 北海道医療大学 認定看護師研修センター 感染管理分野 専任教員)

感染管理認定看護師の元教員。G検定など複数のAI資格を持ち、医療者向けセミナーを多数開催。個人情報扱う医療機関で注意すべき「シャドーAI」のリスクや、現場を安全に守る運用ルールの作り方をわかりやすく解説。

テーマ 感染管理認定看護師の活動と医療DX：生成AIの現場活用事例と安全な運用・ルールづくり

抄録 多岐にわたる感染管理業務において、情報整理や資料作成の負担軽減は急務です。本講座では、現場で再現しやすい「生成AIの効果的な活用事例」を2名の講師が具体的に紹介します。さらに、個人利用で進む「シャドーAI」のリスクを整理し、病院として安全にAIを活用するためのルール設計（体制・運用・教育）やガイドラインの項目例まで徹底解説。現場の業務効率化と安全管理を両立させる実践的な内容をお届けします。

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ご案内事項
アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

講師紹介【認知症看護分野】

第3回

【動画時間】約90分

【配信期間】7月6日（月）12:00～9月30日（水）23:59まで

認知症看護領域は、院内横断で全員の教育、研修、記録、
マニュアルの徹底が最重要！！



高水 勝 先生

アルケア株式会社

事業管理本部 医療環境／医療行政分析・マーケットアクセス

北海道医療大学認定看護師研修センター特別講師として、「皮膚・排泄ケア認定看護師」「感染管理認定看護師」「認知症看護認定看護師」の3分野で、医療制度/保険制度の特別講義を担当。その他の認定看護師研修校等でも特別講義を複数担当。業界活動では16年間にわたり日本医療機器テクノロジー協会創傷被覆材部会長を務め、学会活動では日本褥瘡学会評議員/保険委員/褥瘡対策用具推進委員、日本フットケア・足病医学会ガイドライン委員会アドバイザー等に就任。1989年より3M（現ソルベンタム株式会社）に34年間所属、2023年11月よりアルケア株式会社に転籍し、医療市場環境分析/薬事・保険戦略/コンプライアンス/事業企画等を担当。医療行政、診療報酬、チーム医療マネジメント等で年間50回程度の講演、適宜執筆。

テーマ 認知症看護/身体的拘束に関して、診療報酬を軸に関連法規や各種運用を多面的に理解する

抄 録

疑義解釈が出そろった段階なので、各項目とも具体的に解説します。

- ◆「認知症ケア加算」「せん妄ハイリスク患者ケア加算」「精神科リエゾンチーム加算」等
- ◆「身体的拘束」の規定－入院基本料の減算、身体的拘束最小化推進体制加算等の解説、介護施設の身体的拘束廃止の解説－
- ◆看護業務の合理化や情報共有としての各種ICT、AI、IoT、DXの規定や加算。
- ◆特定看護師やNPなど看護業務のタスクシフトの業務範囲について多面的に整理解説
- ◆適時調査、医療監視、指導への対応（認知症領域・身体的拘束関連）

第4回

【動画時間】約90分

【配信期間】7月20日（月）12:00～9月30日（水）23:59まで

高度な専門性とAI・DXを融合し、現場のジレンマを解消する次世代の認知症ケア



福田 智子 先生

砂川市立病院
老人看護専門看護師
認知症看護認定看護師

認定看護師と専門看護師の高度な資格を併せ持ち、院内外のチーム医療を牽引して現場の複雑な課題解決を多数実現。関連著書も多数上梓し、豊富な臨床経験を駆使して最善のケアを提供する、次世代の認知症ケアの第一人者。



吉田 有希 先生

日鋼記念病院
認知症看護認定看護師

高度な専門知識を用いて院内のケアチームを牽引し、患者ケアやスタッフへの指導を通じた病院全体の質向上を実現。豊富な経験を駆使して地域住民への啓発から家族支援までを網羅する、地域密着型認知症ケアの第一人者。



森 真紀

株式会社ソワネ
(元 北海道医療大学 認定看護師研修センター
認知症看護分野 専任教員)

2008年に認知症看護認定看護師を取得。現場での豊富な経験を経て、教育機関で8年間教員を務め136人の教え子を輩出。現在は北海道認知症看護認定看護師会会長として、全国で活躍する後進の育成に尽力している。

テーマ 認知症ケアの現状と実装：身体的拘束の最小化とAI活用による業務効率化・新規事業企画

抄 録

本講座では、高い専門性と倫理観が求められる認知症ケアの現場において、AIアプリや生成AIを駆使した圧倒的な業務効率化ノウハウを伝授します。2名の講師が実践事例をもとに、チームビルディングからAIを活用した新規事業企画の立て方まで具体的に解説。記録や雑務から解放され、より患者様に寄り添うための「次世代の認知症ケア」を実装し、専門職の知見を組織の価値に変えるアプローチをお届けします。

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ ご案内事項
アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

講師紹介【皮膚・排泄ケア分野】

第5回

【動画時間】約90分

【配信期間】8月10日（月）12:00～10月31日（土）23:59まで

WOC領域は、超速で地域連携、ICT、DXの活用の時代に！！



高水 勝

先生

アルケア株式会社

事業管理本部 医療環境／医療行政分析・マーケットアクセス

北海道医療大学認定看護師研修センター特別講師として、「皮膚・排泄ケア認定看護師」「感染管理認定看護師」「認知症看護認定看護師」の3分野で、医療制度/保険制度の特別講義を担当。その他の認定看護師研修校等でも特別講義を複数担当。業界活動では16年間にわたり日本医療機器テクノロジー協会創傷被覆材部会長を務め、学会活動では日本褥瘡学会評議員/保険委員/褥瘡対策用具推進委員、日本フットケア・足病医学会ガイドライン委員会アドバイザー等に就任。1989年より3M（現ソルベンタム株式会社）に34年間所属、2023年11月よりアルケア株式会社に転籍し、医療市場環境分析/薬事・保険戦略/コンプライアンス/事業企画等を担当。医療行政、診療報酬、チーム医療マネジメント等で年間50回程度の講演、適宜執筆。

テーマ

WOC領域に関して、診療報酬を軸に関連法規や各種運用を多面的に理解する

抄録

疑義解釈が出そろった段階なので、各項目とも具体的に解説します。

- ◆「入院基本料」「褥瘡ハイリスク患者ケア加算」「専従規定」等の変更点
- ◆「ストーマ外来（在宅療養指導料）」の変更点
- ◆「下肢創傷処置」「静脈圧迫処置」「排尿自立指導料」等
- ◆創傷被覆材、NPWT、衛生材料の保険償還と支給方法の運用と変更点
- ◆「D to P with N」他、地域連携関連

- ◆看護業務の合理化や情報共有としての各種ICT、AI、IoT、DXの規定や加算の解説。
- ◆特定看護師やNPなど看護業務のタスクシフトの業務範囲について多面的に整理解説
- ◆適時調査、医療監視、指導への対応（褥瘡・WOC領域）

第6回

【動画時間】約90分

【配信期間】8月24日（月）12:00～10月31日（土）23:59まで

地域連携！！

それぞれの「立場」「制度」「臨床」「環境」の相互理解できていますか？



山本 由利子

先生

ガーネットナース代表
皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師として、急性期病院、訪問看護、介護施設と臨床一筋30年以上にわたり活躍。JSSCR、JWOC等のWOC領域の学会で役員、委員等を歴任し、学会の全国大会長から地域セミナーまで、WOC領域の啓発活動と人材育成、地域とのネットワーク作りに多くの貢献。2025年からは、専門性をもった看護師に対しての「コーチング」による人材育成を開始し注目されている。WOCで知らない方はいない重鎮。



高水 勝

先生

アルケア株式会社 事業管理本部
医療環境／
医療行政分析・マーケットアクセス

テーマ

地域からの視点でわかった！「病院からスムーズに地域連携する」ためのポイント

抄録

急性期病院にとって、ストーマケアや褥瘡ケアについて地域連携をスムーズに行うことは重要と考え、常に地域でケアを担う医療・福祉関係者への情報提供と人間関係の構築に尽力されている。しかし、地域では複雑な医療・介護制度のもとで、広く多くの職種が横断的に関わっているため、連携や調整が困難なことも多い。急性期病院と地域の両方を経験したからこそ見えてきた、スムーズに連携するためのポイントを解説します。前半60分ほどで講演、後半30分で、高水先生とのディスカッションの構成としたいと思います。

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ ご案内事項

アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください

申込方法

開催形式：完全オンライン

配信日：2026年6月～10月（全6回）

【感染管理分野】 ①6月 8日（月）12:00～8月31日（月）23:59まで
②6月22日（月）12:00～8月31日（月）23:59まで

【認知症看護分野】 ③7月 6日（月）12:00～9月30日（水）23:59まで
④7月20日（月）12:00～9月30日（水）23:59まで

【皮膚・排泄ケア分野】 ⑤8月10日（月）12:00～10月31日（土）23:59まで
⑥8月24日（月）12:00～10月31日（土）23:59まで

参加費：30,000円（税込） / 1施設

申込締切：8月3日（月）17時まで



お申し込み・詳細については
こちらのQRコードから

注意事項

料金と視聴可能人数について

- 1つの病院で申し込めば、人数の制限なく何名でも視聴可能です
- 3つの分野のうち、すべての分野を視聴しても、1分野だけを視聴しても料金は一律30,000円です
- 病院単位ではなく個人で申し込んだ場合でも、料金は変わらず30,000円となります

病院が異なる場合の申し込み

- 関連病院であっても、病院が別の場合（法人格が別など）は、それぞれ別々に申し込む必要があります（施設外への共有や転載は固く禁止いたします）
- 友人、知人同士で別々の病院に勤務している場合なども、それぞれの病院ごとに申し込みが必要となります

学会や認定看護師の自己研鑽ポイントについて

- 本セミナーは施設単位での申込方法であり、個人の視聴状況を追跡・特定することが難しいため、学会や認定看護師の自己研鑽ポイントは全て対象外とさせていただきます（個人参加の場合でも同様の対応とさせていただきます）

開催概要：2026年6月～10月／完全オンライン

企画・主催：株式会社ソワネ 協力：アルケア株式会社

株式会社ソワネHP：<https://soine.co.jp>

お問い合わせ：info@soine.co.jp

■ご案内事項
アルケア株式会社様への直接のお問い合わせはご遠慮ください